

東武鉄道杯少年野球大会出場にあたっての 「新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止」に対する注意事項

I. 健康管理関係について

1. 次の場合は出場、参加を控えること。
 - ・大会当日の体温が37.5℃以上の発熱がある場合
 - ・体調不良の症状（風邪、嗅覚・味覚異常、発熱・咳・咽頭痛、倦怠感など）がある場合
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある場合、または濃厚接触者となった場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者と濃厚接触がある場合
2. 試合当日の朝、健康状態の確認と検温の実施をすること
3. 「東武鉄道杯少年野球大会出場チーム・参加者名簿（兼同意書・体調確認届）」について、必要事項を記入の上、必ず試合前に大会本部に2部、提出すること
 - ① 各チームは必ず試合当日、出場選手、指導者ならびに参加者（保護者、帯同児童など）全員の氏名・当日の体温・過去2週間以内の体調確認を記入すること
 - ② 出場選手については、必ず各家庭の同意を得ること
 - ③ 途中来場者についても確認の上、名簿を提出すること
 - ④ 出場選手・参加者から新型コロナウイルス感染者が発生した場合、同名簿を関係機関（各試合会場の自治体、保健所など）に提出することを了承すること
 - ⑤ 名簿は東武鉄道杯事務局（東武博物館）で大会終了後2週間保管し、事なければ責任をもって処分する
4. 各試合会場の自治体への提出書類（施設利用同意書など）がある場合は、必要事項を記入の上、速やかに提出すること

II. 感染予防・感染拡大防止関係について

1. 東武鉄道杯少年野球大会「新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止」にあたっての注意事項を遵守すること
2. 各試合会場（地区）のルール（決まり事）ならびに「新型コロナウイルス感染防止対策（ガイドライン）」を順守し、感染予防・感染拡大防止対策をはじめ大会運営に協力すること
3. 応援（保護者など）について、新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより制限する場合がある

4. 開会式ならびに各試合会場までの移動、球場（グラウンド）への出入りの際は、出場・参加者全員マスクを着用のこと。
5. プレー中以外はマスク着用のこと。ただし、熱中症には十分気を付けること
6. 参加チームは、ハンドソープ（石鹸）、アルコール消毒液を必ず用意すること
7. 感染予防として、こまめな手洗い、うがい、アルコール消毒液などによる手指消毒をすること
8. ベンチ内でもこまめな手指消毒をすること
9. 共有する用具の消毒を徹底すること
10. ドリンクなどの水分補給（水筒など）は各自で用意すること
11. ウォータージャグの使用は禁止する。飲み物は個別にし、飲み回しをしないこと
12. タオルについて各自で用意し、共用は行わないこと
13. 球場（グラウンド）ならびに敷地内で唾や痰を吐く行為は絶対に行わないこと
14. 3密（密接・密集・密閉）を徹底的に避けること
 - ・試合待ち時間、練習での密着は避けること
 - ・集団での飲食をしないこと
 - ・近距離での会話を行わないこと

III. 試合準備・試合中の対応関係について

1. 各試合会場への集合は密を避けるため、試合開始予定時刻 30 分前までに集合すること
2. メンバー表は試合開始予定時刻 25 分前までに提出すること。メンバー表交換時、審判、選手・監督はマスクを着用し間隔をあけ、握手などは行わないこと
3. ベンチ入りについて、本部の指示あるまで行わないこと
4. ベンチ内では密を避けるため、ベンチ外も利用し大きめ（広め）に設定し、出来るだけ間隔をあけること
5. 試合開始及び終了時の挨拶は、審判、両チームのキャプテンで行い、他の選手・指導者はベンチ前に間隔を取り整列し、審判の号令に従い行うこと。また、試合前および終了時の本部などへの挨拶は行わないこと
6. ベンチ内では、選手・代表・監督・コーチ・スコアラーなど全員、マスクを着用すること。また、大きな声での指示・応援（歌など）は避けること
7. 熱中症には気を付け、十分な水分補給をすること
8. ハイタッチやグータッチ、握手などは行わないこと
9. マウンド上で集まる時は、少し間隔をとりクラブで口を覆い会話すること
10. ボールボーイは指定し、1～2 名で行うこと

11. 試合終了後、相手チームとのエール交換は行わないこと
12. 試合中の審判員へのお茶出しは行わないこと
13. 審判員についてはマスクを着用すること。尚、イニングの合間にこまめに水分を補給するなどして、熱中症の予防には十分注意すること
14. 大会本部および審判員は、感染予防・感染拡大防止対策ならびに熱中症対策を目的として、試合中の選手に注意喚起を行うこと
15. 応援の際、保護者など参加者は、マスクを着用すること。密を避けるため、間隔をあけて応援し、大きな声での応援（歌など）はしないこと

IV. その他

1. 熱中症対策を図ること。※ベンチでのテント張りだしは可とする
2. 試合終了後、グラウンドに滞在せずに速やかに退出すること
3. 会場内での試合後のミーティングならびに食事はしないこと。尚、各沿線大会最終日（準決勝・決勝戦、閉会式）ならびに中央選手権大会についてはこの限りではない。但し、3密（密接・密集・密閉）にならないよう十分注意すること
4. ゴミは必ず持ち帰ること
5. 大会前、出場チームにおいてチーム関係者から新型コロナウイルス感染者（陽性者）ならびに濃厚接触者が発生した場合は、速やかに当該地区幹事へ連絡し、地区幹事は東武鉄道杯事務局へ報告すること
6. 大会期間中および大会参加後2週間以内に、大会出場チーム関係者ならびに参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、感染者・濃厚接触者などについて速やかに当該地区幹事へ連絡し、地区幹事は東武鉄道杯事務局へ報告すること
7. 大会関係者から新型コロナウイルス感染者が発生した場合、「東武鉄道杯少年野球大会関係者参加者名簿」を関係機関（各試合会場の自治体、保健所など）に提出することを了承すること
8. 大会開催期間中に東武鉄道杯開催の都県（自治体）に緊急事態宣言の発令・まん延防止等重点措置の適用がなされた場合、大会役員会で協議し、大会を中止する場合がある
9. 大会開催期間中、選手・指導者・保護者ならびに大会関係者から新型コロナウイルス感染者（陽性者）ならびに濃厚接触者が発生した場合、大会役員会で協議し、大会を中止する場合がある
10. 試合会場となる自治体(区市町)ならびに教育委員会、後援自治体、関係機関などから大会開催に対する指導・対応などが出された場合、大会役員会で協議し、大会を中止する場合がある
11. 上記以外でも環境が著しく悪化した場合は、大会役員会で協議し、大会を中止する場合がある